



日進北小だより

令和2年8月17日 8月号 第5号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

学校教育目標:

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する
～日本一 すてきなあいさつ 日北っ子～

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

「体験と経験」

校長 平塚 信也

「特別な」夏休みはいかがだったでしょうか。保護者・地域の皆様の応援・ご支援をいただきまして、元気に2学期を迎えられたことに深く感謝いたします。ご家庭でも初めての経験にご苦労されたことと推察いたします。私も部屋の片づけをしたいと考えながらなかなかできずに終わってしまいました。2学期も新型コロナ感染拡大の状況を見ながらの学校生活になります。安全面に關わる行事（避難訓練・健康診断等）や運動会（児童・教職員のみ）は実施を計画しています。状況により突然の変更をお願いすることもあるかと思いますが、できるだけ早くメールやHPでお知らせいたします。ご了承ください。

さて、本校では北校舎と南校舎をつなぐ渡り廊下に、掲示委員会が貼り替えて紹介する各クラスの作品（絵や詩や作文等）コーナー（日北ギャラリー）があります。私もその作品を見るのを楽しみにしています。1学期末に、5年生の「体験と経験」という似た言葉について考察する文章がありました。そこには「体験とは自分の身に起きていること」で「経験とは、自分はどう思う。など考えを含んでいるもの」なのではないかと書かれていました。「なるほどなあ。」と思ったので辞書を引いてみました。【大辞林】

体験-実際に身をもって経験すること。またその経験。

経験-直接触れたり、見たり、実際にやってみたりすること。また、そのようにして得た知識や技術。

とありました。これだけだと違いがよくわかりません。しかし、経験の項に、『類義の語に「体験」があるが、「体験」は自分自身の身をもって実際に行う意。それに対して「経験」は自分で実際に見たり聞いたりして知識・技術などとして身につける意』とありました。

なるほど、私も自然に体験や経験という言葉を使い分けていますが、経験という言葉を使うときには、「今後同じようなことがあったときには生かしたい、経験から学んだことを用いて今後の人生を豊かにしたい。」というようなニュアンスを持たせて使っていることに気付きました。

経験には児童の書いた通り、体験から考えて知識や技術として自分の中に取り込み、自分の力として蓄えるという意味があるようです。「体験」だけでも素晴らしいことですが、その後、体験から「考える」という行為を通して経験にしたいと思いました。今、「特別」と言われる生活を体験していますが、ここから何かを学んで経験としていきたいと考えた夏休みでした。